

公表: 令和 7年3月1日

事業所名: 児童発達支援・放課後等デイサービスきらら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・メインフロアをカーテンで仕切ったり、適宜個室を使用する等用途に応じて環境を整えています。	・今後人数に応じて体育館を借りる等して運動時のスペースを確保していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			・現在6人の職員と児童数に応じて系列の児童デイから職員を増員をして調整をしています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		・手すりの設置、玄関を広く利用するために物を少なくするなど対応しています。	・各児童の必要に応じて対応していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			・職員全員での会議の参加を徹底しており、会議の際には各児童の目標に応じた課題見直し等をしています。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・毎年の評価表により保護者様より貴重なご意見を頂いています。	・今後も評価表や普段の連絡などでもご意見をお聞かせください。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・ホームページ、インスタグラムで公開しています。	

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	・きららでは現在外部評価を行っておりません。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・年に2回以上の外部の研修、専門職による社内研修を行っております。	・職員研修の実施によりご利用を中止する日もあるかと思いますが何卒宜しくお願い致します。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・毎日の課題は各児童さんの目標に合わせた課題を行っています。 ・職員会議では各児童さんの目標に合わせた課題設定、活動予定を計画しています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・円城寺式のアセスメントツールを用いたアセスメント、きらら独自のツールを用いたアセスメントを行っています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・毎月の予定、各児童さんの目標に応じた課題の設定など職員会議で設定しています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・活動に新鮮さを感じられるように手作りの教材等を作成して活動を行っています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・平日は疲労度合いを加味して設定しています。 休日等には平日では出来ないような課外活動などを行っています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・各児童さんの状況をアセスメントし専門的なエビデンスをもとに活動、課題を設定しています。	

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・各児童さんのその日の課題等を毎朝確認し、その日の集団活動も職員間で打ち合わせをしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			・その日の出来事などを話し合い、その日不在の職員には後日伝えるようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・連絡帳とは別に個人記録、業務日誌等を毎日記載し、毎月の職員会議に活かしています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・毎月の職員会議での話し合い、6か月ごとの個別支援計画書更新時のモニタリングを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			・ガイドラインの基本的役割、基本姿勢、運営管理に則り支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6			・担当者会議には管理者、担当者等その児童さんの状況を一番理解出来る職員が参加しています。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・毎回のお迎え時の教員とのやり取り以外にも、関係機関連携を行い学校時の情報共有
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1		・現在医療的ケア児童さんの通所はありませんが、常時看護師がおり、専門的に連携可能です。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			・定期的に児童さんの通園先や通所先との連携を取っています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			・現在まで移行支援に至っていないませんが必要時には情報提供可能です。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・研修を受けたり、実際に児童発達支援センターへ見学、児童発達支援センターの方に訪問に来ていただき職員の学習の機会につなげています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2		・現在交流の機会はありません。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3		・研修への参加をしています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・普段の連絡帳や送迎時のやり取り、LINEでの活動報告、面談等様々な場面で情報共有を行っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		・感染症の動向を見ながらにはなりますが、今後専門職を交え保護者向けのペアレントトレーニングの場を設ける予定です。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に重要事項説明書、契約書をもとに説明を行っています。

⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・連絡帳や送迎時、LINE等を通してご相談いただいています。 必要に応じて専門職との面談も可能です。	
㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・今年も専門職を交え保護者向けの研修や保護者会等を行う予定です。	
㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情・相談マニュアルをもとに対応させていただきます。	
㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・季節ごとの会報の発行、LINEでの各ご家庭への活動報告を写真や動画などで行っています。	
㉔	個人情報に十分注意しているか	6			・個人情報保護法の施行にあたり、下記内容の個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めております。	
㉕	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・様々なツールを使い児童さん、保護者の方と円滑にコミュニケーションが取れるようにしています。	
㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			・今年も子育てサロン、保護者向け研修等を行う予定です。	
㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			・各マニュアルをもとに対策、対応しております。	・保護者の方向けに災害時のお迎え、連携マニュアルを作成しお配りしております。

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・職員向けの訓練は毎月、児童参加型の訓練は年に2回設定しています。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・虐待防止委員会を設置の上研修を毎年行っています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・身体拘束適正化のための指針を設け職員研修のうえで支援を行っています。 ・万が一身体拘束が必要と判断される場合には保護者の方の了承のもとで行う規定になっております。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			・アレルギーによる緊急時の対応を看護師のもと研修を行っています。 ・緊急時には指示書をもとに看護師によるエピペンの使用が可能です。 ・食器の色分けなどで食物アレルギーの対応可能です。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・事故防止・発生時対応マニュアルをもとに支援をおこない、発生時には、ヒヤリハット書類作成のもと職員会議で共有をしています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。